

### 明智町歌舞伎保存会（恵那市）

大正八年、恵南地域六カ町村の有志が中心となり、名古屋市内にあった明治座を買い取って、現在の恵那市明智町へ移転改築し、地域唯一の文化的な会館劇場「常盤座」が生まれました。以来、五十五年間の長きにわたり、歌舞伎や演劇が行われましたが、戦時色が深まるとともに下火となりました。

戦後、歌舞伎の文化が再興し、明智町歌舞伎愛好会を作り、昭和四十五年には当保存会を立ち上げました。しかし、役者不足や資金不足等のため「常盤座」の維持が困難となり、昭和四十九年に取り壊し、本舞台のみ瑞浪市日吉に移し、「相生座」の二部として残りました。

その後、上演が一時休止しましたが、「明智町文化センター」の建設により、昭和五十八年に第二回の地歌舞伎公演を行い、その後二年おきに計六回の公演を行いました。平成六年に「明智かえでホール」が完成すると、舞台を当ホールに移し、今に至ります。会員一同、伝統ある当保存会の継承に全力を傾けています。



### 上矢作町歌舞伎保存会（恵那市）

当保存会は昭和三十三年に設立されました。その後、数年で休止となってしまいましたが、昭和五十年に上矢作町（現恵那市）において東濃歌舞伎大会が開催されたのを契機に活動を再開しました。以来、昭和五十四年まで毎年地元で上演していましたが、会長の体調不良等により活動が停滞し、平成元年の上演を最後に、再び活動休止となりました。

その後、松扇会上矢作支部が中心となって上演を続け、これを核にして、平成十二年に復活公演を目指しましたが、恵南豪雨災害のため、再び活動休止のやむなきに至りました。町の復旧の見通しが立ったことを受けて、平成十四年に歌舞伎公演を実施し、以後隔年で上演を続けています。

平成二十五年の東濃歌舞伎大会出演以来、役者不足と観客数の減少のため、活動を休止していましたが、今回、串原明智・山岡の各保存会様に協力を頂き、上演させて頂くこととなりました。



## 2020 地歌舞伎

### 串原歌舞伎保存会（恵那市）

恵那市の最南端 串原は、面積の多くを山林が占める自然豊かな地域です。愛知県豊田市と境を接することから三河地方の影響を受け、江戸中期に村人たちの娯楽として歌舞伎が始まりました。昭和中期に一時衰退するも、昭和四十六年に当保存会を結成し、翌々年には第二回公演を開催しました。

さらに、昭和五十六年からは次世代育成のため、子ども歌舞伎にも取り組み始めました。串原小学校における「ふるさと学習」の二環として、歌舞伎を学び、体験する活動を取り入れ、同年の村の文化祭で初公演し会場を沸かせました。以降、毎年子ども歌舞伎を続け、現在では毎年十一月の串原文化祭にて、大人二幕、子ども二幕を上演しています。平成六年には串原の歌舞伎が串原村無形民俗文化財の指定（現在は恵那市指定）を受け、また、令和元年度には永年の活動が評価され、岐阜県伝統文化継承者表彰を受けました。今後も、地域が誇る伝統文化の保存・継承のため、活動してまいります。



ぎふ清流文化プラザ YouTubeチャンネル  
地歌舞伎勢揃い公演の動画を続々更新中!

### 地歌舞伎とは

地歌舞伎とは、地元の素人役者たちによって演じられる、地域に根付いた歌舞伎です。江戸や上方で盛んであった歌舞伎は、地方を巡るプロの旅役者によって全国各地に広がり、それに憧れた地方の人々が神社の祭りで演じたり、芝居小屋を造ったりと、自ら楽しむようになりました。現在、岐阜県には30を超える地歌舞伎保存団体が存在し、9軒の芝居小屋が各地に現存しています。岐阜県は全国有数の地歌舞伎が盛んな地であり、芝居小屋をはじめ、毎年各地で定期公演が開催されています。江戸時代から伝わる演目や振付が大切に受け継がれ、親しまれている岐阜県の地歌舞伎をご堪能ください。

# 2020 地歌舞伎

## 勢揃い公演 全目

2021年6月13日（日）

- ◆ 開演 14時00分
- ◆ 会場 ぎふ清流文化プラザ 長良川ホール

- ◆ 上演外題・出演
  - 14時00分（30分） 今月妖術和巖島 宮島のだんまり
  - 14時50分（40分） 明智町歌舞伎保存会（恵那市）

- ◆ 上演外題・出演
  - 14時50分（40分） 青砥橋花紅彩画 稲瀬山勢揃いの場
  - 15時55分（50分） 戎詣恋釣針 釣女

◆ 終演 16時45分（予定） 演目上演順は変更となる場合があります。



解説  
演目の見どころやあらすじについて、分かりやすく解説します。  
歌舞伎ソムリエ おくだ 健太郎氏



297mm

210mm

表紙

↓地

裏表紙  
表面

207mm

中に折り込む面



主催 / 岐阜県・(公財)岐阜県教育文化財団  
協力 / 岐阜県地歌舞伎保存振興協議会  
令和3年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業  
ねふりんプロジェクト岐阜2021応援事業



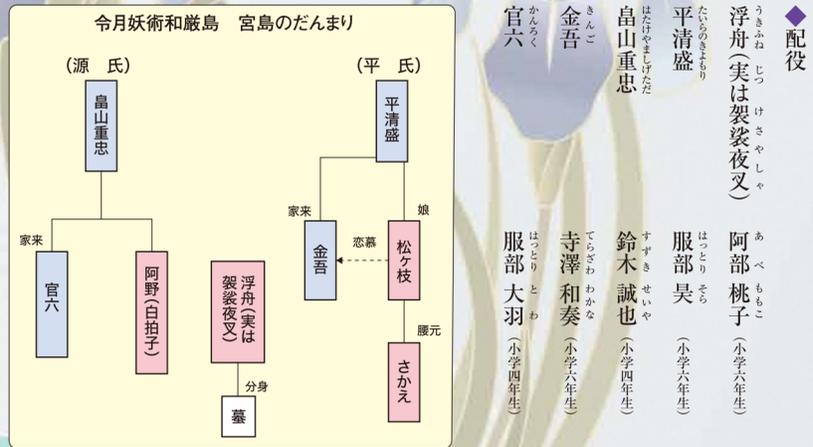
210mm

②山折り

①山折り

今日妖術和巖島 宮島のだんまり 明智町歌舞伎保存会 (恵那市)

天保十三年(一八四二年)江戸市村座初演、「増補兜軍記」の四段目「宮島のだんまり」として出されました。「だんまり」とは歌舞伎の演出方で、通し狂言の一部に主要人物が、闇の中を無言で探り合う動作を様式化したものです。時は平安時代、平家の全盛期。平清盛は平家の守護神とする宮島の巖島神社へ、家臣金吾を供に参詣に來ています。金吾を恋慕う清盛の娘松ヶ枝も腰元さかえの案内で訪れます。暮の妖術を使う袈裟夜叉は浮舟という傾城になって宮島へ現れ、源氏方の畠山重忠、官六、白拍子の阿野らが一同揃います。にわか令月が雲間に隠れ、だんまり模様となり、袈裟夜叉はまんまと平家の赤旗を奪い、花道を去って行きます。



- ◆配役
- 浮舟(実は袈裟夜叉) 阿部桃子 (小学六年生)
- 平清盛 服部昊 (小学六年生)
- 畠山重忠 鈴木誠也 (小学四年生)
- 金吾 寺澤和奏 (小学六年生)
- 官六 服部大羽 (小学四年生)
- 後見 岡村昌子
- 白拍子 阿野 堀花帆 (小学三年生)
- 松ヶ枝姫 松ヶ枝姫 水草朱音 (小学六年生)
- 腰元 さかえ 水草舞音 (小学四年生)
- 墓 伊藤政治

解説 おくだ健太郎氏

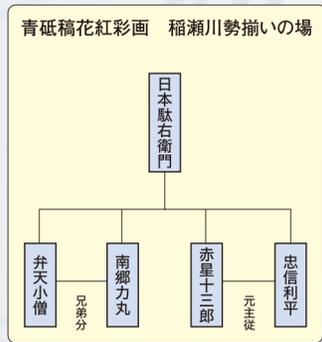
名古屋出身。早稲田大学政経学部卒業後、大歌舞伎のイヤホンガイド解説者としてデビュー。その後二十五年あまり、歌舞伎座や御園座などで解説員を歴任。また、歌舞伎ソムリエの呼称で、執筆や講演、YouTubeの発信など、幅広く活躍している。



青砥稿花紅彩画 稲瀬川勢揃いの場 上美作町歌舞伎保存会 (恵那市)

文久二年(一八六二)江戸市村座初演の河竹黙阿弥の作中でもっとも上演回数が多い人気作です。全三幕九場の二幕目にあたります。

桜咲き乱れる稲瀬川堤に、迷子を捜すと見せかけ、捕手達が待ち伏せをしているところへ、盗賊の張本日本駄右衛門を筆頭に弁天小僧菊之助、忠信利平、赤星十三郎、南郷力丸らが揃いの傘に、それぞれの模様の衣装で登場します。そして、ツラネと呼ばれる七五調の名台詞でひとりずつ名乗りを上げます。五人男と捕手の派手な立廻りも地歌舞伎ならではの見どころです。



- ◆配役
- 日本駄右衛門 安藤哲也
- 弁天小僧菊之助 西脇惠美
- 忠信利平 安藤博一
- 赤星十三郎 中垣美鈴
- 南郷力丸 三宅幸史 (串原歌舞伎保存会)
- 鳥屋口 夏目りり子
- 捕手頭 水野和一 (山岡歌舞伎保存会)
- 堀新三 堀新三 (串原歌舞伎保存会)
- 橋本奈々枝 橋本奈々枝 (明智町歌舞伎保存会)
- 堀君史 堀君史 (明智町歌舞伎保存会)
- 大島秀治 大島秀治 (串原歌舞伎保存会)
- 後見 堀昭芳 (串原歌舞伎保存会)
- 原田宏明 原田宏明 (串原歌舞伎保存会)

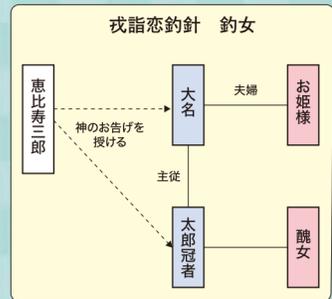
戎詣恋釣針 釣女 串原歌舞伎保存会 (恵那市)

「釣女」とは能狂言「釣針」をもとにした松羽目物で、ユーモア溢れる歌舞伎舞踊です。

とある地の大名は独身で、そろそろお嫁さんが欲しいと家来の太郎冠者をお供に縁結びの神で有名な、西宮恵比寿大明神に参詣し、「何卒良き妻をお授けください」と一心込めて祈ります。すると夢の中で恵比寿三郎が女鷹の姿で現れ、「汝等の妻は、西宮一の木田橋のほとりに待っている」と告げるのでした。

二人は心勇み木田橋に急ぐと、妻ではなく釣竿が落ちています。この釣竿で妻を釣れとの教えであろうと、大名が糸を垂れると、みごと美しいお姫様を釣り上げ、めでたく祝言となります。うらやましくてたまらない太郎冠者は、自分も美しい妻をと釣り糸を垂れると、衣を被つ

た女性が釣りあがり。喜んだ太郎冠者は二人で末永く楽しく暮らそうと誓い、被っている衣をとったところ、それはフグに似た醜女でありました。これに驚いた太郎冠者は嫌がりますが、醜女は太郎冠者を気に入り、一途に迫るうちに幕となります。



- ◆配役
- 大名 三宅康弘
- 太郎冠者 三宅恵里奈
- お姫様 藤嶋百花
- 醜女 三宅勝彦
- 恵比寿三郎 堀珠紀
- 後見 大島裕子

協力	振付指導	松本団女
〃	大夫	竹本美芳
〃	三味線	豊澤順八
〃	下座	松本奈津美
〃	顔師	松本宙士
〃	〃	松本茂み
〃	〃	松本匠平
〃	床山	松本真由美
〃	着付	松本美登里
〃	〃	林喜久枝
〃	衣裳	松本衣裳

中に折り込む面

中面

表紙裏